

LIBERA

[リベラ]

VOLUME 85 2016



特集

「世界へ羽ばたけ！」

Make the World Your Stage!

2016年4月 国際学部スタート!



大阪経済法科大学



青色防犯バトロールをはじめ、地域社会のさまざまな防犯活動に取り組む。本学のボランティアサークル「学生防犯隊」。法学部4年生の日野祥太さんは、部長としてメンバーを統率し、先頭に立ってこのサークルの活動を推進しています。その取組内容や、地域防犯への想いについて、日野さんに語ってもらいました。

地域を見回り、犯罪を防止。
市民からの感謝が励みに。

学生防犯隊の活動の中心は、通学路での子どもたちの見守りなど、地域の自主防犯バトロールを行うことです。また、八尾市が主催する、防犯に関わる市民イベントでの準備や後片付けなどのお手伝いにも携わっています。地域社会のために役立つことができれば、という気持ちで、みんなで力を合わせ、「生命取り組み」続けています。うれしいのは、市民の方々から「ありがとう」といった言葉をいただけることです。認知度が高まるにつれ八尾警察署との連携による交通安全の啓蒙キャンペーンや、餅つき等の市民イベント、さらに天神祭での清掃ボランティア等活動範囲も広がっています。八尾市長からも直接「防犯意識を持つ人が増えてくれることがありがたい」といった感謝の言葉をいただく機会がありました。

社会に出てからも
ボランティアを続けたい。

学生防犯隊の創設は2014年12月。わずか5名でスタートし、現在は48名にまで増えています。私は「大学でしかない、何か新しいことに挑戦したい」と考えていた時、先輩に誘われ、このサークルに参加しました。みんなで計画を立て、役割分担をして活動を進めており、そうしたなかでメンバーのチームワークや行動力も日々向上し続けています。最近では市民の方から「こんなイベントを開くのでぜひ参加してほしい」といった声をかけていただく機会も増えました。私たち学生もこの地域社会の一員として、市民の方々と交流しながら地域活性化の力になることができていると思うと、誇らしく感じます。卒業してからも、社会の一員としてこうしたボランティア活動に積極的に参加したいと思っています。

kirari
活躍する
経法生

地域の安全を、私たちの手で守る！

学生防犯隊

日野 祥太さん
法学部 法律学科 4年生
愛媛県立西条高校出身



“地域社会のために
何ができるか”を常に考え、
防犯活動にかぎらず、
いろいろなことに挑戦!



八尾市役所の主催で月1回行われている、自転車用の「ひたくり防止カバー」の無料取り付けキャンペーンに参加し、お手伝いをしています。



昨年10月には、田中誠太八尾市長から学生防犯隊への感謝の意味が込められた「防犯ベスト」を授与。今後の活動への期待と激励の言葉もいただきました。



昨年3月、八尾市と連携・協力し、花岡キャンパス周辺のガードレール美化活動を実施。汚れや落書きが目立っていたガードレールに、ペンキ塗装を施しました。



昨年7月の天神祭の開催期間中には、大阪天満宮駅周辺の清掃ボランティア「天神祭ダストバスターズ」にも参画。段ボールで作ったダストボックスの設置やゴミ回収を行いました。

「世界で活躍するために」

赤城永里子准教授 × 国際学部 新入生

アルリスティア・テグ・
アンガリアさん

国際学部 国際学科 1年生
留学生(インドネシア)

赤城 永里子准教授

博士(言語文化学)

日下部 諒さん

国際学部 国際学科 1年生

Make the World Your Stage!

日下部 ● 私は将来、英語を使って仕事をしたいと考えています。でも英語ができるというだけでは、これからのグローバル社会では通用しないのではないかと、とも思っています。
赤城 ● そうですね。言語は他の人とコミュニケーションをとるためのツールに過ぎません。言語は使い方の次第で、人と人との関係を良くすることも、悪くすることもできます。人を傷つける言葉は簡単に言えるでしょうか？ そういう認識をもつて言語を学び、言語を使ってほしいと思います。
日下部 ● ツールとしての英語が学べて、さらに国際社会での活躍に必要なプラスアルファが学べる大学がここだと、オープンキャンパスの時に感じました。私は国際学を勉強して、どうすれば世界が平和になるのか、提案できるようなってきたいんです。そして、将来は国際連合で働きたいと思っています。
赤城 ● それなら、学生のうちから世界のいろいろな問題について考えることが大切。いま世の中でのんたことが起きているかを知り、どうすれば問題が解決できるか、常にアイディアを持つために努力してほしい。学んだ知識に基づいて考え、そこに自分自身のオリジナルの考えも加えて、すぐに実践できないようなことでもいいから、問題の解決法について自分なりのアイディアを探り、蓄積していくんです。それはきっと、将来につながっていきますよ。



「私の母国、インドネシアは現在急速な経済発展を遂げています。日本のテレビ番組も数多く放送され日本の文化にふれる機会も豊富です。」——アンガリア(写真はインドネシアの首都・ジャカルタ)

まず世界を体験し、「感じる」ことが大切。
アンガリア ● 私が日本に興味をもったきっかけは、母国で放送している日本のテレビ番組。でも実際に日本に来てみると、テレビからイメージしていた日本とは違う面も多いですね。

学だけでなく、国際的な経済やビジネスの知識、コミュニケーションスキルなどを身につけたいと考えて、この大学を選びました。将来は、母国インドネシアと日本との交流にかかわるビジネスに携わりたいんです。日本の文化に興味があるので、日本人の学生と交流しながら勉強できることも、とてもうれしく思います。
日下部 ● いろいろな国からの留学生と一緒に学べるのは、私もありがたいと感じています。それぞれの国の文化や風習、政治・経済などについて、お互いに知識を得ることができるといいですね。

特集

世界へ羽ばたけ!

Make the World Your Stage!

2016年4月 国際学部 スタート!

いよいよスタートを切った、国際学部。
それぞれ夢を抱いて入学してきた新入生たちは、いま何を想い、
どのような期待感をもって学んでいるのでしょうか。
赤城准教授と二人の国際学部生に、語り合ってもらいました。

国際学部新入生が入学し、教職員、学生スタッフとともに4月6、7日2日間のキャンプを終え、大学生活にも慣れる時期にさしかかっています。8つの基礎演習クラスに分かれて基本的な学修能力を鍛え、「使える英語」を目指して毎日Intensive Englishを学び、「世界を知る力」を身につけるべく頑張っているところです。また、5月下旬時点ですでに国際学部の1年次の重要科目である海外体験・留学のための行先を決定して、世界へ飛び立つとしています。国際経験豊富な教職員は、学生諸君が「生きる力」をたくわえ「学歌」、国際社会で活躍できる人間に成長できるように力いっぱい支援します。



〔国際学部長〕

田畑理一教授
経済学博士

CONTENTS

02 【特集】 世界へ羽ばたけ! Make the World Your Stage!

- ▶ 国際学部長挨拶
- ▶ 巻頭対談
赤城永里子准教授 × 国際学部 新入生
- ▶ 留学で夢を見つけた先輩
金澤龍馬さん

06 クローズアップ 経法

CLOSE UP KEIHO

- ▶ 体育会 卓球部・ソフトボール部
- ▶ 体育会 テコンドー部
- ▶ 体育会 硬式野球部
佐々木 悠斗さん
- ▶ 文化会 漫画アニメーション研究会
- ▶ 体育会 サッカー部
川染 拓樹さん

08 2016年度大学事業計画の概要

12 kirari 活躍する経法生 学生防犯隊 日野 祥太さん

2016年 5月31日発行

【編集】 大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市湊音寺6丁目10番地
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp>

留学で夢を見つけた先輩 INTERVIEW



金澤 龍馬さん
経済学部 経済学科 4年生 兵庫県 滝川高校出身

発展途上国での体験が、 国際協力に携わるという 未来を選択するきっかけに。

大学入学後、マレーシア、韓国、ベトナムでのフィールド・スタディや、米国マセッドカレッジ、カンボジア国立経営大学への留学など、さまざまな国を訪問。語学力を高めるとともに、日本に
いるだけでは学べない、多くの知識も身につけました。なかでも2年生の時に訪れたベトナムで孤児院を訪問した経験から国際協力への関心が高まり、3年生からは特に持続可能な開発の可能性を探究するため開発経済についての勉強に力を注ぎました。「将来は国際協力に携わりたい」と真剣に考えるようになり、カンボジア国立経営大学では、先進国とは異なる、発展途上国の視点で捉えた世界の経済やグローバルビジネスについて学修しました。夢の実現に向けて、さらに開発経済の知識を深めるため、現在は大学院進学をめざしています。



「希望留学先の一つが、ニュージーランドのオークランド大学。体験や交流を通じて学びたいことがたくさんあります」——日下部
(写真は2015年度ニュージーランド・フィールド・スタディの様子)

人は、私より立派ですよ笑。
日下部●日本人学生どうしでの意見交換も、たくさんしたいですね。せっかく経済学部や法学部があるのですから、そうした他の学部の学生との交流から、いろいろな知識や考え方を身につけられると思うんです。
赤城●それはとてもいいことです。国際学部では、世の中で起きている

問題を複合的な視点から見る力を養うことを目標としています。貧困の問題も、ジェンダーの問題も、文化、歴史、法律、経済、他さまざまな観点から考えるべき問題で、それはバラバラでなく、手をつなぐように互いにかかり合っています。いろいろな分野の知識を持って、多面的に物事を捉えられるような勉強をしていってください。それは他者の視点で物事を見る力を養うことにもつながります。

国際社会への第一歩は、 異なる考えを 認め合うこと。

アンガリア●インドネシアには、日本で学びたいと考えている学生がたくさんいます。大阪経済法科大学国際学部の一期生として、日本に留学する先輩として、母国の学生たちのよい手本になりたいと思います。



例えば、私が好きな日本のアニメ番組では、おじちゃんやおばちゃんも一緒に家で暮らしていたので、日本の家族にそういった印象を抱いていたんです。ですから日本に来て、私と同じアパートで一人暮らしをされているおばあさんがいたことに、びっくりしました。そこから、日本の核家族化や高齢化社会の問題について、考えるようになったんです。インドネシアでも、いずれ同じ問題に直面する可能性があると思いました。
赤城●実際にその国に行って体験しないと気づけないことは、たくさんあります。本やメディアなどで知識を得ることも必要ですが、体験や実際の行動の中から真実を見抜く力をつけてほしいですね。

う役立てるかを学んでみたいですし、ミャンマーの貧困地域を訪れ、格差の問題をこの目で確かめたい。
アンガリア●私もミャンマーでのボランティア体験を希望しています。いろいろな国の人々と交流して、文化や生活習慣が違っても、理解し合えるようになっていきたいんです。
赤城●以前、経済学部と法学部の学生の海外体験学修プログラムの引率でニュージーランドに行った時、学生たちが抱いているような感情について聞かせてもらいました。うれしさ、楽しさ、悔しさ、悲しさ、むなしさ。2週間という短い期間でしたが、「人生で一番濃い時間だった」「自分の4年間をこのままでは終わらせない」。現地でいろいろな体験や交流学び、すべてが絡み合っているのだと思いますが、やっぱり「行ってみて、現地で感じる」って、すごく大切ですね。感じたことが、「もっと勉強したい」「また行きたい」という意欲にもつながるんですよ。

幅広い知識をつなげて、 自国を知り 世界の問題を捉える目を。

日下部●国際紛争や、日・中・日韓関係の問題について考えると、つらい気持ちになります。異なる国どうしの人々が理解し合える、平和な世界を実現したい。そのためにまず、自分自身が自国のことをきちんと理解しておくことが必要だと考えています。今の私は日本についてまだまだ知らないことが多いので、そ

Make the World Your Stage!



「大学等の教員として中国と香港で暮らしたなかで、現地と日本、お互いの文化の良さを認識しました」——赤城准教授(写真は有名な香港の「100万ドルの夜景」)

こをしつかりと学び、世界の人々に伝えられるようになりたい。日本と相手の国との違いをふまえて意見交換ができれば、お互いに理解し合えると思います。

アンガリア●確かに自国のことについて理解を深めることは大切ですね。いま日本で生活しているなかで、私はインドネシアの代表になっているという気持ちがあります。日本人は私を見て、インドネシアがどんな国かというイメージを抱くのですから。

赤城●私は日本を出て中国で仕事をしていた時に、日本の良さにたくさん気づきました。中国はこういうところがいいけれど、この点では日本のほうがいいなって。実はそれまで日本があまり良いと思えず、海外に出たいとばかり考えていたんです。でも他の文化を知ることによって対照できて、日本の良さも、中国の良さも、実感できました。学生のうちから自国への理解が大切と考える二



赤城 永里子准教授

博士(言語文化学)

主な担当科目 / 日本語総合演習 A・B、フィールド・プロジェクト I
専門分野(現在の研究課題) / 日本語教育学、シラバスデザイン、仕事のための日本語(Japanese for Occupational Purposes)、初級から始める仕事のための日本語シラバスデザイン



日下部 諒さん

国際学部 国際学科 1年生
大阪府立成城高校出身

「国際連合で世界平和に貢献したい」というのが将来の夢。そのために国際社会についての幅広い知識を身につけたいと考え、国際学部に入學。いろいろな国や地域での海外体験学修ができることが、大阪経済法科大学を選ぶ決め手に。



アルリスティア・
テグ・アンガリアさん

国際学部 国際学科 1年生
留学生・インドネシア出身

日本の文化に興味を持ち、高校卒業後、母国での社会人経験を経て、留学を実現。まず日本語学校で日本語の習得に励み、その後、大阪経済法科大学に入學。国際学部で4年間学び、将来インドネシアと日本との架け橋となる仕事をすることが夢。

体育会男子卓球部
1部昇格決定
ソフトボール部も
2部へ昇格

5月14日(土)、関西学生卓球連盟春季リーグ1部入替戦が、花岡キャンパス総合体育館で開催されました。本学男子卓球部は、昨年度も春季・秋季リーグで1部入替戦に挑みましたが、ともに惜敗し、1部昇格を逃していました。

今回の入替戦では、序盤から優位に試合を進めて、龍谷大学との接戦(4対2)を見事制し、2年ぶりに1部昇格を果たしました。

また、同日、関西学生ソフトボール春季リーグ2部入替戦が、泉南市民球場(サザンスタジアム)で開催され、本学ソフトボール部が龍谷大学を11対6で下し、2部昇格を決め、二重の喜びとなりました。



体育会テコンドー部
「日本代表となり、
表彰台に立ちたい!」

2月21日に開催された「第9回全日本テコンドー選手権大会」において、本学体育会テコンドー部の村上亨来さん(経済学部経営学科2年生)が、男子58kg級2位という優秀な成績を収めました。「次こそは優勝したい」と悔しさをにじませる村上さんですが、全国の強豪選手との闘いのおかげで、確かな手応えもつかんだようです。

道場の師範を務める父親の指導のもと、5歳からテコンドーを始め、高校3年間はテコンドーの本場・韓国に留学。高校2年生の時にはアジアジュニアアテコンドー大会で3位入賞も果たしています。帰国後、これまでも多くの世界大会に代表選手を輩出してきた本学のテコンドー部に入学しました。

「目標は、日本代表としてオリンピックに出場し、メダルを獲得すること。みなさん、応援よろしくお願いします!」。



漫画アニメーション
研究会がデザインした
ヘッドマークを付けた
近鉄電車が運行!

4月7日(木)、近鉄信貴線信貴山口駅で、文化会漫画アニメーション研究会がデザインしたヘッドマークを付けた近鉄電車の出発式が行われました。

この取組は、春の全国交通安全運動週間(4/6~4/15)に合わせて開催されたもので、大阪府警から依頼を受けた同部が、スマートフォンを使いながら自転車に乗る危険性を訴える内容のデザインを作成しました。

当日式典に参加した部員たちは、最初は緊張した面持ちで参加していましたが、徐々に場の雰囲気にもなれ、自分たちが作



漫画アニメーション研究会による「歩きスマホ禁止キャンペーン」で採択されたヘッドマーク。

成したデザインが紹介されると照れくさそうな表情を見せながら、どこか誇らしげな笑みを浮かべていました。

式典終了後、ヘッドマークを付けた近鉄電車の車両が、信貴山口駅から河内山本駅間(約2.8km)を往復し、沿線住民に自転車マナー向上について注意喚起を行いました。

漫画アニメーション研究会
山口竜樹さん
経済学部経営学科2年生
大阪府大阪体育大学浪商高校出身

「今回、このような取組に関わることができ、本当にいい経験をしたことができた。これからも自分たちの活動を通じて、何か地域や社会に貢献していきたいと思っています。こういった活動に興味がある方は、文化会館1階107号室には非一度遊びに来てください!」。

INTERVIEW

体育会硬式野球部
「打ち勝つ野球で
1部リーグ昇格をめざす!」

私たち経法大の硬式野球部は、現在、阪神大学野球連盟2部東リーグに所属しています。昨年度のリーグ戦では、春季・秋季ともに最下位に沈んでしまいましたが、その悔しさから「もっと強くなりたい」という意欲を持つ部員が増え、いい雰囲気のおかげでチーム作りを進めることができています。

特に攻撃面では、この冬にみんなでバットを振り込んだ成果が出始め、打ち勝つ試合ができるようになってきました。

方で、守備面はまだ課題が多く、守備のミスから試合を落とすケースが少なくありません。試合を想定した練習で、実戦感覚を養いながら守備を鍛えていきたいと考えています。

目標は1部リーグ昇格。私たち4年生はまもなく引退しますが、下級生には力のある部員が多いですし、きつと上位を狙えるチームになれると思います。みなさんもぜひ球場に足を運び、部員たちが頑張っている姿を見てください。



硬式野球部/主将
佐々木 悠斗さん
経済学部 経済学科 4年生
兵庫県立赤穂高校出身

中学・高校の野球部で活躍し、本学の硬式野球部でも1年生からレギュラーに。現在は主将としてチームをまとめています。

INTERVIEW

体育会サッカー部
「勝てるチームへの
土台作りは順調!」

現在のサッカー部は、私たちの年代が新たに立ち上げ一から作り上げてきたチームです。関西学生リーグの3部に所属し、当初はほとんど勝つこともできませんでしたが、昨年度の後期リーグ戦から、勝利や引き分けという結果が出せるようになってきました。

まず守備を固め、そこからショートカウンターなどで攻撃に転じる、という戦い方が、形になりつつあります。何より、最後まであきらめずにみんな

ンタル面での成長が大きいですね。セットプレーでの失点の多さなど、課題もまだまだありますが、着実にチームとしての土台づくりが進んでいることをうれしく感じています。

2部リーグ昇格という目標を、今年度の実現させることは難しいですが、チームは日々、進歩し続けています。勝てるチーム、強いチームになつていくので、みなさん、応援よろしく願います!



サッカー部/主将
川染 拓樹さん
経済学部 経済学科 4年生
愛媛県立松山商業高校出身

高校時代もサッカー部の中心選手として、県大会の決勝にも進出。大学では1年生から主将を務め、チームを作り上げてきました。



大学事業計画・大学予算収支

2016年度大学予算及び事業計画が3月28日理事会において承認可決されました。ここにその概要を表表いたします。

本学は高等教育機関に課せられた社会的使命及び公共的責務を果たすため、各学部学科・研究科の養成する人材像の実現に向け、事業計画を着実に実行してまいります。

本学の教育研究活動に、引き続き、ご理解を頂きますようお願いいたします。

1 志願者・入学者の確保

○国際学部認知を拡大し、教育特色を訴求する広報を継続的に展開します。

○経済学部経済学科、経営学科及び法学部法律学科の教育特色と教育実績を訴求する広報を展開します。

○経営学系の大学院設置届出(2017年4月予定)を見据えた大学院広報を実施します。

○高大接続・入学者選抜の改革に対応して、「入学者受入れの方針」(AP)の見直しを進めます。

2 就業力の育成・キャリア支援

○キャリアセンターの下、全学的な就職率の押し上げと、業界別・学部特性を反映したキャリア形成・就職指導の施策を講じ、学生の就職満足度の向上を図ります。

○経済学部・法学部のキャリア教育プログラムを充実させ、正課科目との双方向性と連動性を高めることにより教育効果を向上させます。また、国際学部開設に伴い、「国際キャリア教育プログラム」を新規に展開します。

○学内合同会社説明会、就勝実践キャンプをはじめとしたキャリア支援プログラムを充実させ、インターシップログラムとの更なる充実と参加者の拡大を図ります。

○企業との関係を強化し、学生の志望ニーズに応えることができるよう、企業情報量を拡充させます。

○体育会クラブ生の特性を活かす「アスリートキャリアプログラム」を新たに実施します。

○生涯にわたり職業的、社会的に自立した女性として生き抜く力を養うため、「女性キャリアプログラム」を充実させます。

○留学生の志望ニーズを踏まえた

各種支援プログラムを整備し、大学院1期生の希望進路の実現に向けた支援を強化します。

3 国際学部

○学生が異文化理解と多文化共生を育み、豊かな国際感覚と実践的な英語運用能力を身につけることができるよう、国際コミュニケーション、グローバルキャリアの二つのコース特性に応じた開設初年次の教育課程を円滑に実施します。

○国際学部の「卒業の認定に関する方針(DP)」、「教育課程の編成及び実施に関する方針(CP)」を策定し、公表します。

○新入生の多様な属性を踏まえた入学前教育及び基礎演習を実施します。

○実践的な英語運用能力の修得に向け、留学海外体験と組み合わせ、国際学部における英語教育を着実に実施します。

○国際学部における海外体験・留学プログラムを安全かつ着実に実施します。

4 経済学部

○経済学部経済学科及び経営学科において、授業内容・方法を改善向

援を行い、学生の主体的学びを引き出す双方向・能動型の授業を拡充します。

10 資格取得支援の強化、公務員志望学生支援

○各学部学科の養成する人材像の実現に向け、正課外に開講されるSコース(難関試験を目指す学生のための特修講座)及び資格講座の教育を一層充実させます。

○公務員志望学生に対する行き届いた全学的な支援を強化します。

11 国際教育・国際化事業

○国際的なビジネス・市民社会で活躍できるグローバル人材の養成に向け、正課授業及び国際教育プログラムを充実させます。

12 学生支援

○豊かな人間性を涵養し他者への理解を深め、学生が自律的に成長できるよう、課外活動等自主的活動の活性化を支援します。

13 ICT活用の推進と学術情報基盤の整備

○学生が充実した学生生活を実現することができるよう、多様なニーズに応じた適切な支援を行います。

上させるための組織的取組を推進し、教育の質保証に取り組みます。

○学生が学科やコースへの所属意識をもつて学修を円滑に進めることができるよう、経済学科・経営学科それぞれのDP、CPが具体化された特色ある8コース制の教育を実践します。

○開設から3年目を迎え、専門学修が基礎から応用へと本格化する経営学科において、専門教育を着実に実施します。

○専門演習において、能動的学修等の積極的拡大に加え、学修指導、進路就職・資格取得指導・成果の自己点検等の取組を強化します。

○講義科目において、教育方法の共有と実践を強化します。

○2016年度の卒業論文作成・提出を促進します。また、2017年度からの経済学科及び経営学科における4年次専門演習の必修化、卒業論文又は卒業レポートの提出に向けた学修指導を実施します。

○公認会計士・税理士等、難関国家試験合格に向けた指導を強化します。

○高い学修意欲を持つ学生による集団形成に向けたプラットフォームとして、アドバンスプログラムを拡充させます。

実、授業外学修の活性化のため、ICT環境の安定的運用・管理に努めます。

○学術情報基盤としての図書館の機能強化に向けた検討を進めます。

14 地域連携・社会貢献

○八尾市等との協定に基づき、共同調査研究等の活動に取り組みます。

15 施設設備の整備・充実

○学生がキャンパスに愛着を持ち快適に学生生活を送れるよう、施設整備利用計画を推進し、2キャンパスのアクセス改善に努めます。

16 研究活動

○学術研究の推進に向けた取組を充実させ、研究活動の活性化を図ります。

17 職員の業務遂行能力の向上

○職員の業務遂行能力と専門性を実践的に育成し、大学改革を牽引する職員の校務展開力を高め

18 大学機関別認証評価受審

○学校教育法に基づき大学機関別認証評価を受審し、教育研究活動の発展をめざします。

○多様化する留学生に対応した教育の充実に向けて、専門日本語の学修支援、進路就職支援を強化します。

5 法学部

○4コース16モデルの下、法学部教育の充実のため、教育の質保証に向けた施策を着実に実施します。

○希望進路に応じた公務員合格実績の向上に向け、「公務員ナビブック」を活用した指導を充実させ、公務員コースの教育力を高めます。

○法科大学院及び法律専門資格合格実績の向上に向け、法律専門職コースの授業内容・方法の改善向上を目的とした教員による組織的な取組、学生に対する個別指導を強化します。

○「宅地建物取引士」をはじめとする資格取得指導を強化します。

○専門演習の質保証に向けた組織的な取組を進め、少人数・双方向型教育、付加価値の高い教育を充実させ、学修・進路指導を強化します。

6 教養部

○本学学生に共通して求められる基礎力を養成するため、共通教育科目から構成される教育プログラムである「経法スタンダード」を充実させ、各学部のDPの実現を支える汎用的技能を養成します。

○教養教育科目の整備・充実を進め、幅広い教養や異文化・多文化理解を通じた「豊かな人間性と国際

8 教務部

○活力ある教育文化の創造に向け、特色ある教育の充実・発展を図ります。

○各学部学科教育課程の充実に向け、初年次における教育の改善、コース履修モデルの実質化、国際教育の強化に向けた取組を進めます。

○学生の学修目標と発展段階に応じた教育支援体制を充実させます。

○学生の特性や状況に応じた学修支援・学生生活支援を行います。

7 大学院経済学研究科

○経済学研究科1期生の修士論文の作成提出に向けて、複数教員指導体制による研究指導を充実させます。

○大学院教育の質保証を図るために、授業内容・方法を改善向上させるための組織的取組を推進し、学修支援の充実を図ります。

○2017年4月の経営学系大学院の設置に向けた準備を着実に進めます。

8 教務部

○活力ある教育文化の創造に向け、特色ある教育の充実・発展を図ります。

○各学部学科教育課程の充実に向け、初年次における教育の改善、コース履修モデルの実質化、国際教育の強化に向けた取組を進めます。

○学生の学修目標と発展段階に応じた教育支援体制を充実させます。

○学生の特性や状況に応じた学修支援・学生生活支援を行います。

9 授業内容・方法を改善し向上させるための教員の組織的な取組み

○各科目の位置付けに応じ、到達目標を達成するための授業改善支

2016年度 大学予算収支 概要

収入について

2016年度の収入の概要は、以下のとおりです。（金額は、全て概算額です。）

①「学生生徒等納付金収入」
29億1千万円

新入生、在学生から納めていた
だく入学金、授業料、実習費等の
学費です。本学における、主要な
財源となっています。

②「手数料収入」
5千万円

入試の検定料や成績証明書など、各種証明書の発行手数料及

び、大学入試センター試験実施手数料です。

③「補助金収入」
6千万円

私立大学等経常費補助金で2015年度交付額を基準として計上しています。

④「大学整備充実資金
運用収入」
2千万円

大学整備充実資金の運用利息収入です。安全性と効率性を勘案し預金や国債で運用しています。

大学整備充実資金の内容は次のとおりです

・建物等減価償却引当特定資産（建物及び構築物の減価償却分を積立て、建物等の建替えや施設等の充実に活用する特定資産）

・建物等修繕引当特定資産（長期修繕計画に基づき、修繕費を積立てている特定資産）

・八尾駅前キャンパス建築引当特定資産（八尾駅前キャンパスの整備工事等を引当てた特定資産）

・退職給与引当特定資産（教職

員の退職金の支給のために積立
てている特定資産）

⑤「雑収入」
1千万円

科学研究費補助金（文部科学省による研究費助成）の間接経費その他の収入です。

支出について

2016年度の支出の概要は、以下のとおりです。

①「人件費支出」
14億円9千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、契約職員等に支払われる給与、手当及び退職給与引当特定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
8億2千万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画に沿って編成しています。今年度において主な

内容は、①各種奨学費事業に1億9千万円、②特修講座や資格講座等の開講事業に5千万円、③キャリア支援や就職指導の充実事業に5千万円、④国際教育の充実事業に3千万円、⑤課外活動教育充実事業への支援事業に4千万円等となっています。

③「管理経費支出」
3億4千万円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や、学生募集経費などです。

④「建物等減価償却引当
特定資産繰入支出額」、
「建物等修繕引当
特定資産繰入支出額」
3億6千万円

それぞれの特定資産の設定趣旨に基づいて、毎年度所定の金額を繰り入れます。

⑤「その他の支出」
3千万円

教育研究用の機器備品・図書などの購入費です。

2016年度 大学予算書

2016年4月1日から2017年3月31日

（単位:千円）

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,906,492	人件費支出	1,489,805
授業料収入	2,723,352	教員人件費支出	863,723
入学金収入	179,040	職員人件費支出	579,314
その他納付金収入	4,100	退職給与引当特定資産繰入支出額等	46,768
手数料収入	47,295	教育研究経費支出	815,734
入学検定料収入	44,750	報酬委託手数料支出	210,364
試験料収入	45	奨学費支出	187,415
証明手数料収入	2,500	光熱水費支出	79,963
補助金収入	60,000	その他教育研究経費支出	337,992
大学整備充実資金運用収入	20,000	管理経費支出	339,192
雑収入	7,538	印刷製本費支出	57,199
		報酬委託手数料支出	38,261
		旅費交通費支出	11,660
		その他管理経費支出	232,072
		建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	261,963
		建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
		その他の支出	34,631
収入の部合計	3,041,325	支出の部合計	3,041,325

※この2016年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

■ 大学整備充実資金（2016 年度期首残高）（単位:千円）

建物等減価償却引当特定資産	4,903,867
建物等修繕引当特定資産	287,462
八尾駅前キャンパス建築引当特定資産	45,396
退職給与引当特定資産	711,849
合計	5,948,574

※上記残高は、2015年度予算に基づく見込額です。

収支構成図

